

守る会岡山 38号
2018.10.1 発行



森永ひ素ミルク中毒の被害者を

守る会岡山

岡山県本部事務局

〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28

明治安田生命岡山桑田町ビル4階

086-232-3855

酷暑と豪雨に襲われた岡山県 大変な災害に負けず

がんばろう岡山！



西日本豪雨災害で思うこと

備中支部 森脇 良明

台風7号がやっと通り過ぎたと思ったら、7月5日(木)～7月7日(土)の間、梅雨前線が居座り、西日本を中心に土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が生じました。災害はないと思っていた岡山県でも、県内いたるところで土砂災害や河川の氾濫による大規模な冠水が起こり、倉敷市真備町では46名の死亡者がでる大災害となりました。被害を受けられた皆さまには、心からお見舞いを申し上げます。

7月6日(金)私は仕事で岡山にいました。勤務終了後帰宅しようにも豪雨によりJRが遮断し交通手段はなく、心当たりのホテルも満室で、しかたなく山陽本線、新幹線、バスの運行状況を確認するため岡山駅をうろうろしておりました。幸運にも午後9時に倉敷駅行きバス乗ることができ、心配でしたが嫁さんに気をつけて倉敷駅まで迎えにくるようお願いしました。バスの中では乗客の各スマホに気象に関する特別警報が鳴り響き、尋常ではないと感じました。バスは午後10時ごろ倉敷駅に到着し、運転手さんにお礼を告げてバス下り、しばらくすると嫁さんも駅に到着しました。

さて、帰宅しようとして新倉敷～矢掛線を通ると山道が土砂崩れ、倒木で不通、真備町を通ると、真備付近が浸水して不通、真備町から総社市新本を通り帰宅しようとする避難の車で渋滞していたので断念。引き返し国道2号線を金光まで通り遥照山トンネルを通過して矢掛まで帰りました。帰宅途中父親のところに寄ると、既に床下まで水がきており、停電していました。父親

に避難を勧めると「心配せんでいい！ 消防団が大型ポンプでたまった水を小田川に放水しているから、これ以上水は増えりゃせん！」と拒否されたので、「何かあったら携帯に電話するんで！」とお願いし帰宅しました。

びっくり！ 7月7日（土）午前1時ころ、家の近所の田んぼは水が川のように流れていて、自宅の庭は冠水し玄関まで水がきていました。何がなんだかわからず、動かせる電気製品や貴重品を2階に上げているとまもなく停電し、台所の床下収納から水が噴き出していました。嫁さんは泣きそうな顔をしているし、「これは大変なことになるな！」と覚悟をきめていたら、午前3時ころ嫁さんが「水が少し減ったよ！」と言うので注意して庭に出て塀から外をのぞいて見ると、家の北側の水路に水が勢いよく流れ込み、水が引き始めていました。

朝、近所の皆さんと被災状況を話し合うと、どこのお宅も床上まで浸水しており、小田川の堤防が2か所決壊し、午前3時ごろ2か所目の堤防が決壊したことで、町内にたまった水が小田川に戻ったため、水が引いたことが分かりました。2か所目の堤防が決壊したので助かりましたが、状況判断不足による人命にかかわる大きな被害を受けるところでした。

今回の豪雨災害の教訓は、自分は安全という感覚はあてにならない。災害はいつやってくるかわからない。スマホ等で知らせてくる自治体の災害警報、避難勧告、避難指示を注視し、それに従うことの大切さについて思い知らされました。

西日本の記録的豪雨災害

備中支部 中倉 隆巨



7月6日（金）、午後10時過ぎ自宅にいる妻より「避難指示が出されており、これから地域の公民館に避難します。国道は冠水し通行止めで帰宅できないので親戚宅へ避難してください」と連絡がありその後、携帯電話は不通で安否確認が取れず…。

0時20分頃、^{ひわ}総社市日羽駅周辺の河川に人が流されたとのNHKテレビの速報あり、その情報を見た娘より母は無事に避難したのだろうか、連絡あり、再三、携帯電話に連絡す

るが不通…。^{つの}不安が募り、総社消防署に確認するが安否は不明、複数の知人に連絡・確認し数時間後、無事に避難所にいることが判明する。

7月8日（日）、5時半頃岡山より帰宅。国道180号線には何台も流された車が放置されており、冠水時の流木、土砂が^{たいせき}堆積されている状況。自宅庭に土石流が流入しコンクリート壁・ブロック塀が崩壊、床下浸水と悲惨な状況に啞然とする。

離ればなれになっていた、家族の無事の姿を見て安堵する。「壊れた物は治すことができるが、命は取り返せない・生命の大切さを痛感する」そんな気持ちで一杯でした。

第50回全国総会に参加して

備中支部 張谷 俊郎

初めて全国総会に参加しました。6月17日（日）晴れわたった朝、岡山駅新幹線ホームに集合しました。

新幹線に乗り込みましたが混んでいて、号車も座席もバラバラでしたが、どうにか先に乗った方が誘導してくださって全員座れました。

駅のエスカレーターでは神戸の人はどちらによっているのか気になり観察すると、東京や京都とは違って大阪や奈良と同じで右側に立っていました。こんなことばかり考えて会場に入りました。

しかし、大会要項を無くして困っていたら、お隣の方が見せてくれました。優しい！感謝感激！！

開会行事は議案集通りに進み、いささか退屈でしたが、「14年目の訪問」の大塚睦子さん、新妻義輔さんのお話は、とてもリアルでバッチリ目を輝かせて聴きました。

守る会役員の皆さんが、事前に何度も話し合って提案された今年の運動方針案「第二次10カ年計画の推進」が決議されました。

代表者発言では、岡山からは森脇委員長が今年の活動として「森永乳業神戸工場見学」と「65歳問題の学習」について発表されました。

私の感想としては、全国総会参加者は、これからみんな年をとってくるので会場内に今まで以上に車椅子スペースの確保や議事内容を見やすい大型モニターの設置などをして欲しいと思いました。



第1回^{らくしょうかんせつ}楽生関節クラブに参加して

備前支部 杉山 いづみ

皆さん60歳をすぎて体のあちこちの関節に痛みを感じる方が多くなったようです。

それなら「自分達で関節を動かして一生楽に生きるための運動（体操）を学びましょう！」ということで生まれたのが、「楽生関節クラブ」です。

第一回は8月5日（日）岡山国際交流センターで健康懇談会でもお世話になった吉岡こ先生を講師に迎え男女11名が参加しました。

生まれつき股関節の形成が良くない私は「さあ一机を片付けてイスだけにして下さい」の言葉に、どんな運動なのか少し不安でしたが、「無理をしないで自分のできる範囲で」の言葉に「ホッ」として参加しました

リズムカルな先生の言葉に合わせて指を「ハイ、キツネ、マル、3本」と動かし次は足も加

えて、「アレ！アレ！」自分の体なのに思うように動かない。苦笑していると「ちゃんと出来るのは良くないんです。間違えるのがいいんですヨ」と又々救いの言葉。

全身を使って力を加えたり緩めたりバランスをとったり少し汗ばむ運動は、自分の体と向き合う良い時間でした。

1週間たって体のどこにも痛みが出ていないのは、無理をしないで良い運動だったからだと思います。今回参加出来なかった方も、次回はぜひ一緒に楽しい時間を過ごしましょう。



お知らせ

第2回「^{らくしゅう}楽生関節クラブ」を開催します。

日時 12月1日(土)午前13時～15時

会場 岡山国際交流センター 7F 多目的ホール

「毎日必ずやりたくなる体操」をテーマに運動と講演 講師 吉岡幸子先生

☆自主的グループ活動

- 学習会 守る会運動の歴史から、運動の原点を学ぶ
10月14日(日) 10:00～12:00 きらめきプラザ
12月16日・2月10日 10:00～12:00 岡山国際交流センター

☆県本部活動

- 陽だまりの会 手芸・作品作り・食事会など何でも有りの気楽な集まり
10月14日・11月11日・1月12日・2月9日 ぐらしき健康福祉プラザ
- クリスマス会 12月9日(日)10:00～12:00
ぐらしき健康福祉プラザ
「ハーバリウム」を作ろう
参加費 2,500円程度
- リフレッシュ会 グランドゴルフ・学習会・親睦会
3月16日(土)17日(日)
岡山いこいの村
参加費 1万円



「守る会岡山」ホームページ <http://www.mamorukaiokayama.sakura.ne.jp>

機関紙「守る会岡山」に記事投稿、エッセイ、活動報告、制作作品など
どしどしお寄せください。お待ちしております。